

発電所幹部による現場パトロールについて

- 人身災害の連続発生への対応として、2026年9月29日より発電所幹部による現場パトロールを実施。
- 至近の人身災害の共通要因は、危険な工具を使用する作業や、作業中の移動動線に潜んだ「危険源（きけんげん）」であることから、それらに着目した現場パトロールを実施。
- 発電所幹部の俯瞰した視点で現場をパトロールすることにより、当事者では気づき難い、作業自体や作業環境に潜むリスクを把握し、その気づきを共有。
- また、当社の工事監理員も一緒に現場パトロールに参加することで、「危険源を見つける目」を養い、今後のあらゆる作業において、同様の視点でリスクを把握・共有。



現場パトロールの様子

<現場パトロールの気づき例>

作業エリアの整理整頓、段差などの注意喚起の表示、作業員同士で声を掛け合い一つひとつ確認しながら作業を実施する等、作業そのものへの安全対策はしっかり実施されていた一方で

- ① 作業そのものだけではなく、移動動線に工具の仮置き場所が無い、並行して実施している作業との距離が近くないか等の周辺環境リスクへの注意が必要
- ② 繰り返し実施している慣れた作業だからこそ、より安全な方法がないか、リスクがないかという新たな視点が必要

当事者では気づき難い点を把握し危険源を取り除く

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月15日		
号機	7	件名	屋外 取水口エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 2026年9月14日午前11時40分頃、7号機屋外取水口エリアにて、取水口の設備点検に伴い、角溝※(かくみぞ)に付着した貝を取り除く作業に従事していた協力企業作業員が、潜水中に右腕の手首付近が貝に触れて、切創し出血しました。 - このため、業務車にて医療機関へ搬送しました。 ※取水路にある角を入れるための断面がコの字型にへこんだ部分。取水路の設備点検において、海水を排水して作業をおこなう際に、角と呼ばれる鋼板を入れて水路を仕切る。 【対応状況】 ① - 医療機関での診察の結果「右手関節部挫創」と診断されました。 - 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 (2026年9月15日にお知らせ済み)			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月17日		
号機	-	件名	大湊側屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 ・ 2026年9月14日午後10時50分頃、大湊側屋外エリアにて、資材の運搬作業に従事していた協力企業作業員が、仮置きしていたレールとレールの間に足が挟まり転倒し、左足を負傷しました。 ・ このため、2026年9月15日午前0時45分頃、業務車にて医療機関へ搬送しました。 ・ 本人に意識はありますが、自立歩行はできない状態でした。 【対応状況】 ・ 医療機関での診察の結果、「左足関節三果骨折」、「左腓骨骨幹部骨折」、「左第4趾基節骨骨折」、「左第2趾基節骨骨折」の4ヶ所骨折と診断されました。 ② ・ 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 (2026年9月17日にお知らせ済み)			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月18日		
号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（B）不具合による運転上の制限の逸脱からの復帰について （区分：Ⅱ）
【事象の発生】 - 当所6号機の非常用ディーゼル発電機（以下、D／G）（B）の潤滑油に水分が混入したことから、9月10日、保安規定で要求される措置を講じた上で点検をしたところ、シリンダヘッドに不具合を確認しました。 - このため、同日午後0時17分、6号機および7号機の保安規定に定める以下の運転上の制限から逸脱したと判断し、保安規定で要求される措置を実施のうえ、点検を進めておりました。 6号機 保安規定第59条（3台の非常用ディーゼル発電機が動作可能であること） 7号機 保安規定第66条12-3（号炉間電力融通電気設備を使用した号炉間電力融通が動作可能であること） （2026年9月10日にお知らせ済み） ③ - 点検の結果、不具合があったのは、全18か所あるシリンダヘッドのうち、当初確認した1か所のみであり、当該シリンダヘッド以外の機器等については、D／G（B）の機能に影響するような異常は無かったため、当該シリンダヘッドを予備品に交換しています。 2026年9月17日、点検終了後に実施した確認運転において、当該D／G（B）が正常に動作したことから、同日午後9時21分に運転上の制限の逸脱からの復帰を判断しました。 【対応状況】 - シリンダヘッドに不具合が発生した原因について、引き続き、詳細な調査を進めてまいります。 （2026年9月18日にお知らせ済み）			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月24日		
号機	-	件名	貯水池エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
④ 【事象の発生】 ・ 2026年9月18日午前10時25分頃、貯水池エリアにて大容量送水車の定例試験を実施していたところ、大容量送水車のホースが破断し、片付けのため待機していた協力企業作業員2名の足元に接触し、転倒・負傷しました。 ・ そのため、業務車にて医療機関へ搬送しました。 ・ なお、本人に意識はあり、出血はなく、自立歩行は可能な状態でした。 【対応状況】 ・ 医療機関での診察の結果、協力企業作業員のうち1名は「右第六肋骨骨折、脳しんとう」、もう1名は「右第四・五肋骨骨折、脳しんとう」と診断されました。 ・ 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 (2026年9月24日にお知らせ済み)			

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年10月2日		
号機	-	件名	屋外青山南通りエリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
⑤ 【事象の発生】 ・ 2026年9月16日午前10時31分頃、屋外青山南通りエリアにて、道路整備における排水用の集水桝の設置作業に従事していた協力企業作業員が、集水桝の中間梁の切断作業を実施していた際、エンジンカッターの刃が中間梁の切断面に挟み込まれ、その反動でエンジンカッターが跳ね返り、左上腕に刃が接触、出血しました。 ・ このため、午前10時38分に救急車を要請し、医療機関へ搬送しました。 ・ 本人に意識はあり、自立歩行は可能な状態でした。 【対応状況】 ・ 医療機関での診察の結果、「左上腕切創」と診断されました。 ・ 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 (2026年10月2日にお知らせ済み)			

(参考) プレス公表 継続対応件名リスト

号機	－	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）	公表日	2025年1月27日
号機	－	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について （区分：Ⅲ）	公表日	2025年2月28日
号機	4	件名	運転員専用入退域室の扉（管理区域境界扉）の未施錠について（区分：Ⅲ）	公表日	2026年8月12日
号機	7	件名	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分：Ⅲ）	公表日	2026年9月8日

不適合情報

2026年9月10日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	5号機	5号機連絡通路(管理区域)において、6号機(管理区域)との境界に設置している鋼製ハッチが、必要な手続きを取らずに開放されていたことを確認した。速やかに当該ハッチを閉鎖済み。今後、原因を調査し、対応策を検討。	2026/09/06	

4. Non-CAQ 4件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	2号機	タービン建屋地下2階(管理区域)油受けタンク(A)(B)室にて、防火扉が自動閉しないことを確認した。当該扉を点検・調整。なお、手動による閉操作に問題はなく、防火扉としての機能に影響なし。	2026/08/25	
2	6号機	6号炉長期施設管理計画補正申請(2回目)において、申請書本文に記載の不備を確認した。補足説明資料の記載修正を行った際に本文への反映が漏れたものと推定。今後、当該本文を修正し再申請を予定。なお、当該申請における評価の結果に影響のないことを確認済み。	2026/09/08	
3	7号機	タービン建屋2階(管理区域)主発電機エリアにおいて、主タービンの油系ポンプを起動したところ、主タービンの発電機側軸受の軸振動計を取り外した開口部から、潤滑油が漏えい(約20リットル)していることを確認した。油系ポンプを停止し漏えいが停止。拭き取り実施済み。当該エリア外への流出はなく、環境への影響がないことを確認済み。当該事象を柏崎市消防本部へ連絡。 【2026年9月8日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2026/20260908p.pdf	2026/09/07	
4	その他	大湊側補助ボイラー(4A)の水圧試験を実施したところ、発熱用電極の給電部より水漏れ(汚染なし)を確認した。当該給電部の交換。	2026/09/04	

不適合情報

2026年9月11日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	原子炉複合建屋放射性廃棄物処理設備エリア給気ルーパ室の防火扉枠が、腐食により扉と干渉していることを確認した。当該扉枠を点検・修理。なお、開閉操作に問題はなく、防火扉としての機能に影響なし。	2026/09/05	
2	6号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ点検用天井クレーンの年次点検において、巻上装置が動作しないことを確認した。調査の結果、巻上装置制御回路継電器の不具合と推定。当該継電器を交換。	2026/09/02	

不適合情報

2026年9月14日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	5号機	大湊側洗濯建屋1階(管理区域)洗濯廃液系ろ過機室に、水溜りがあることを確認した。調査の結果、洗濯廃液系ろ過機(C)ホースの破れによる洗浄水の漏えい(約120リットル、汚染なし)と推定。拭き取り実施済み。洗浄水元弁を全閉し漏えいを停止。当該ホースを交換。	2026/09/08	

不適合情報

2026年9月15日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	4号機	停止中の換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)において、油タンク油温度低の警報の発報を確認した。調査の結果、油ヒーター温度制御装置の不具合と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2026/09/10	

4. Non-CAQ 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	No. 3高起動変圧器点検において、冷却ファン(No. 4群)中継端子箱内の継電器端子に発錆を確認した。調査の結果、中継端子箱ケーブル接続部のシールが破損し、雨水が浸入したものと推定。当該端子を点検・交換およびシールを修理。	2026/09/07	
2	その他	荒浜側焼却設備運転記録用コンピュータの無停電電源装置に警報が発生し、焼却設備のカメラ監視ができなくなったことを確認した。電源装置内の基板不良と推定。当該電源装置を交換。なお、復旧までの間は当該電源装置を介さず電源供給することにより、焼却設備のカメラ監視を実施。	2026/09/09	

不適合情報

2026年9月16日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	6号機	非常用ディーゼル発電機(B)の潤滑油に水分が混入していることを確認したことから、保安規定で要求される措置を講じた上で点検を実施していたところ、シリンダヘッドに不具合が確認された。このため、機器の故障および損傷等が発生しているとみなし、6号機および7号機の保安規定で定める運転上の制限からの逸脱を判断した。保安規定で要求される措置については実施済みで、定められた期間内(9月19日まで)に復旧作業を実施。なお、原子炉の運転、使用済燃料プールの冷却および放射能への影響がないことを確認済み。 【2026年9月10日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2026/20260910p.pdf	2026/09/10	

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	2号機	原子炉補機冷却水系(B)計装品点検において、原子炉補機冷却水系常用緊急遮断弁が全閉し、換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)が停止したことを確認した。緊急遮断弁の開操作および冷凍機(D)を再起動し復旧済み。当該事象の原因を調査。	2026/09/11	

4. Non-CAQ 4件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	原子炉複合建屋(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/10	
2	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)主油タンク室の南側防火扉が、自動閉しないことを確認した。当該扉を点検・調整。なお、手動による閉操作に問題はなく、防火扉としての機能に影響なし。	2026/09/11	
3	2号機	原子炉建屋最上階(管理区域)天井クレーンの制御盤を更新作業にともない撤去したところ、古いタバコの吸い殻(1本)を発見した。当該タバコを回収済み。当該事象および管理区域へのタバコの持込禁止を周知。	2026/09/12	
4	5号機	大湊側雑固体廃棄物焼却設備点検において、二次バーナープロパンガス減圧弁出口圧力計の指示値が計器精度を逸脱していることを確認した。当該圧力計を交換。	2026/09/10	

不適合情報

2026年9月17日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	6号機	復水移送ポンプ(C)起動試験において、吐出圧力の現場計器と中央制御室計器で指示値が相違していることを確認した。調査の結果、中央制御室計器の精度逸脱と推定。当該圧力計を校正し復旧済み。	2026/09/13	

4. Non-CAQ 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	6号機	試料採取系排ガス予熱器入口水素濃度計が、計器精度を逸脱していることを確認した。当該濃度計を校正し復旧済み。	2026/09/14	
2	その他	大湊側屋外エリアにおいて、資材の運搬作業に従事していた協力企業作業員が、仮置きしていたレールとレールの間に足が挟まり転倒し左足を負傷したため、業務車にて医療機関へ搬送。診察の結果、「左足関節三果骨折、左腓骨骨幹部骨折、左第4趾基節骨骨折、左第2趾基節骨骨折の4ヶ所骨折」と診断された。当該事象を関係者に周知し、再発防止対策を徹底。 【2026年9月17日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2026/2026091701p.pdf	2026/09/14	

不適合情報

2026年9月18日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	タービン建屋1階(非管理区域)ノンセグ点検室において、室内へ貫通している屋外側配線ダクトの腐食部より雨水が流入・滴下していたことを確認した。屋外側の配線ダクト腐食箇所を修理。	2026/09/14	
2	6号機	主発電機励磁装置において、サイリスタ冷却ファン故障警報の発報を確認した。調査の結果、制御盤内を冷却するために3台設置している冷却ファンのうち、1台が停止していることが判明。当該冷却ファンを交換。なお、他の冷却ファン2台に異常はなく、制御盤内の冷却に影響なし。	2026/09/15	

不適合情報

2026年9月24日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 4件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	洗濯廃液系収集タンク(A)の液位計点検において、指示値が計器精度を逸脱していることを確認した。当該液位計を校正済み。	2026/09/14	
2	1号機	原子炉複合建屋(管理区域)南西側階段に、誘導灯(3箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/16	
3	7号機	中央制御室入口扉について、開動作ができないことを確認した。調査の結果、ストッパーゴムの挟み込みによるものと推定。同日中に当該扉を点検し、仮復旧済み。当該扉を修理。	2026/09/10	
4	7号機	7号機屋外取水口エリアにおいて、角溝に付着した貝を取り除く作業に従事していた協力企業作業員が、潜水中に右腕の手首付近が貝に触れて負傷したため、業務車にて医療機関へ搬送。診察の結果、「右手関節部挫創」と診断された。当該事象を関係者に周知し、再発防止対策を徹底。 【2026年9月15日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2026/20260915p.pdf	2026/09/14	

不適合情報

2026年9月25日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	洗濯廃液系収集タンク(B)の液位計点検において、指示値が計器精度を逸脱していることを確認した。当該液位計を校正済み。	2026/09/15	
2	1号機	原子炉複合建屋(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/17	
3	6号機	安全対策設備の設計管理記録確認において、設備が要求された仕様であることの確認は実施していたものの、社内マニュアルで定める確認シートを一部未作成だったことを確認した。当該確認シートを作成。	2026/09/17	

不適合情報

2026年9月28日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 7件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	500kV開閉所3号高起動変圧器の電流測定において、冷却ファン中継端子箱内保護継電器の保護カバーが破損したことを確認した。調査の結果、経年劣化によるものと推定。当該保護継電器を交換。	2026/09/11	
2	2号機	タービン建屋1階(管理区域)北東側階段室の防火扉が、自動閉しないことを確認した。当該扉を点検・調整。なお、手動による閉操作は可能で、防火扉としての機能に影響なし。	2026/09/22	
3	5号機	竜巻対策巻取装置(008)を起動操作したところ、車両の固縛に異常がないにもかかわらず現場操作盤の車両全固縛ランプが点灯しないことを確認した。調査の結果、固縛検出用スイッチの接点不良と推定。当該装置を点検・修理。なお、保安規定にもとづく固縛機能に影響なし。	2026/09/14	
4	5号機	原子炉建屋地下1階(管理区域)原子炉格納容器内の、保安電話基地局用ケーブルの被覆に損傷を確認した。調査の結果、扉開閉時にケーブルが挟まれ損傷したものと推定。当該ケーブルを交換。	2026/09/23	
5	6号機	中央制御室屋外監視モニター盤に、大湊側高台ヤードポールNo. 2熱感知カメラ異常の警報の発報を確認した。当該カメラを点検・修理。なお、炎感知器No. 2およびNo. 3にて代替監視可能なため、監視に影響なし。	2026/09/20	
6	7号機	原子炉建屋地下1階(管理区域)計装ラック室天井デッキプレート撤去作業において、感知器防塵キャップのずれを直した際に火報警報が発報したことを確認した。念のため現場を確認し炎や煙がないことを確認済み。警報装置をリセットし、当該感知器を復旧済み。	2026/09/17	
7	その他	貯水池エリアにおいて、大容量送水車の定例試験実施中に大容量送水車のホースが破断し、協力企業作業員2名の足元に接触し転倒・負傷したため、業務車にて医療機関へ搬送。診察の結果、協力企業作業員のうち1名は右第六肋骨骨折、脳しんとう、もう1名は右第四・五肋骨骨折、脳しんとうと診断された。当該事象を関係者に周知し、再発防止対策を徹底。 【2026年9月24日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2026/20260924p.pdf	2026/09/18	

不適合情報

2026年9月29日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 3件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	タービン建屋地下1階(管理区域)において、計装用圧縮空気系気水分離器(B)の凝縮水排水装置から、空気の流れがあることを確認した。当該事象の原因を調査し対応策を検討。なお、計装用圧縮空気系の圧力に影響なし。	2026/09/25	
2	その他	社内環境監査において、自社産業廃棄物保管場所を確認したところ、法令基準(掲示板設置・周囲の区画・除草)を満たしていないことを確認した。当該保管場所の整備を行い、法令基準を満足していることを確認済み。再発防止を徹底。なお、本件について長岡地域振興局に報告済み。	2026/09/24	
3	その他	発電所構内(屋外)において、道路整備における排水用集水桝の中間梁切断作業に従事していた協力企業作業員が、エンジンカッターの跳ね返りにより左上腕を負傷した。このため、救急車を要請し医療機関へ搬送。当該事象を関係者に周知し、再発防止対策を徹底。	2026/09/16	

不適合情報

2026年10月1日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 8件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	放射性廃棄物処理設備濃縮廃液タンク(A)の液位上昇を確認した。調査の結果、廃液ポンプメカニカルシール部の封水が流入しているものと推定。当該廃液ポンプを点検・修理。	2026/09/24	
2	2号機	タービン建屋1階(管理区域)湿分分離器(A)室の防火扉が、自動閉しないことを確認した。当該扉を点検・修理。なお、扉を施錠管理することにより防火扉としての機能に影響なし。	2026/09/16	
3	2号機	海水熱交換器建屋において海水ポンプ室排風機(B)を起動したところ、逆流防止ダンパー(8箇所のうち2箇所)が全開しないことを確認した。調査の結果、固着による動作不良と判明。当該ダンパーを点検・修理。	2026/08/31	
4	3号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段(地下中4階)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/24	
5	3号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段(地下2階)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/27	
6	4号機	中央制御室防災監視盤に、所内温水系熱交換器エリアの火報の発報を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙がないことから誤報と判断。感知器を交換し復旧済み。	2026/09/25	
7	6号機	試料採取系原子炉水水素イオン濃度計が、計器精度を逸脱していることを確認した。当該濃度計を交換し復旧済み。なお、前回点検から今回点検までの原子炉水水質管理について影響評価を行い、問題ないことを確認済み。	2026/09/28	
8	7号機	取水口除塵装置点検において、トラベリングスクリーン(F)の筐体に腐食を確認した。当該箇所を修理。	2026/09/25	

不適合情報

2026年10月2日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	6号機	β ・ γ 線用警報付きポケット線量計の年次点検において、 γ 線照射時の指示値が判定基準を逸脱している線量計(1台)を確認した。当該線量計を使用禁止。前回点検以降の使用実績を調査し、使用者の影響を評価。	2026/09/30	
2	その他	固体廃棄物処理建屋粒子状物質B系サンプリングラックのB1ポンプサンプリング流量が低下していることを確認した。B2ポンプに運転切替。当該事象の原因を調査し対応策を検討。なお、A系サンプリングラックでの試料採取に異常はなく、空気の放出管理に影響なし。	2026/09/16	

4. Non-CAQ 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	4号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/29	
2	その他	発電所構内(屋外)において、防火帯標識看板(1箇所)が破損していることを確認した。当該看板を修理。	2026/09/22	

不適合情報

2026年10月5日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 3件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	6号機	タービン補機冷却水系サージタンクの水位低下を確認した。調査の結果、タービン補機冷却水系熱交換器(A)淡水側伝熱管の一部に孔が発生しているものと推定。孔が発生している伝熱管を特定し閉塞処理。	2026/09/22	
2	7号機	非常用ディーゼル発電機(A)試運転において、No. 12シリンダーの排気温度および排気圧力が低いことを確認した。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2026/09/26	
3	7号機	タービン建屋1階(管理区域)南側通路に、常設物として適切に申請・管理されていた物品について、誤って廃棄申請の処理をしたことにより無許可状態となっていることを確認した。再申請を実施。	2026/09/14	

4. Non-CAQ 2件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	2号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)海水ストームドレン移送系排水槽ポンプに、ガイドケースフランジ部および固定ボルト(1本)の腐食を確認した。当該フランジ部を点検・修理。	2026/09/03	
2	5号機	当直長引継日誌において、社内マニュアルで定める運転状況(燃料プール冷却浄化系ポンプ切替)の補足記載がないことを確認した。別途作成している運転員引継日誌に切替実績の記載があり、適切に引き継がれていたことから影響なし。なお、当直長引継日誌を適切な手続きにより訂正済み。	2026/09/24	

不適合情報

2026年10月6日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 1件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	3号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)潤滑油保管棚用消火器の安全ピンが破損・脱落し、圧力指示値も0(ゼロ)になっていることを確認した。当該消火器を交換し復旧済み。	2026/09/19	

核物質防護に関する不適合情報

2026年9月14日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備 考
1	1号機の防護区域と周辺防護境界において、扉の点検作業に従事していた協力企業作業員が周辺防護区域から退域する際、ゲートにて異常を知らせる警報が発生した。 調査の結果、区域境界扉の点検作業を行う場合は、監視員が作業員の居場所情報を手動で更新する手順となっているが、監視員が区域を見間違い、当該作業員の位置情報を実際と異なる場所に更新していた。そのため、作業員が周辺防護区域から退域の際にシステムの正常動作で警報が発生した。 対策として、居場所確認はダブルチェックを行うなど、監視員の手順を修正し、関係者へ周知と注意喚起を行った。 なお、当該の作業員においては入域履歴や監視カメラの映像から、不審な形跡が無いことを確認している。	2026/7/16	

- 4. 公表区分その他 0件

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年10月5日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 3件

NO.	不適合内容	発見日	備 考
1	原子力規制庁の現地検査にて、核物質防護設備の鍵の保管庫が、台帳の記載と異なる箇所に設置されていることが確認された。 調査の結果、協力企業から「作業効率化のため保管庫の場所を変えたい」との要望が当社担当者にあった際、当社担当者が、保管庫を移動しても問題ないと誤認し、セキュリティ部門の確認を得ないまま保管庫の移動を許可していた。 対策として、保管庫を移動する際の手順を関係者へ再教育するとともに、現場の状況に合わせて台帳の記載を改訂した。 なお、保管庫自体は適切に管理されており、鍵の不正使用は確認されていない。	2026/6/30	
2	5号機建屋内での作業後、見張人に鍵の返却をした際、作業場所にある核物質防護上の扉が未施錠であると見張人より指摘を受けた。当該作業員はすぐに作業場所に戻り施錠を行った。 原因は、作業が長引き事務所に戻る時間が迫っていたために、当該作業員が施錠を失念したもの。 対策として、鍵の取扱者(借用者)は、解錠・施錠の一連の作業を指差呼称するとともに、鍵の取扱者以外の現場にいる作業員も、施錠状態をダブルチェックする運用を定め、関係者へ周知と注意喚起を行った。 なお、未施錠中の不法行為等は確認されていない。	2026/8/7	
3	核物質防護の設備更新における掘削作業において、周辺防護区域境界の車両ゲートを操作するための埋設ケーブルを損傷させ、車両ゲートが自動で操作できなくなった。 調査の結果、作業前の埋設物確認で、当該ケーブルが作業に干渉しないことを確認し、掘削作業も手順通りに行われていた。しかし、作業エリアの近傍に当該ケーブルが埋設されていることは現場の作業員に周知されておらず、当該作業員がわずかに作業エリアを超えて掘削してしまった際、ケーブルと接触した。 対策として、掘削作業時は、実際の作業範囲とその周辺エリアを含めた埋設物の調査を、作業員全員で確認する運用を定め、関係者へ周知と注意喚起を行った。 なお、不具合発生後車両ゲートは手動運用に切り替えて運用し、障壁機能は維持されていた。	2026/8/18	

- 4. 公表区分その他 11件

NO.	不適合内容	発見日	備 考
1	監視カメラの録画機能が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、維持されていた。	2025/10/6	
2	監視カメラの洗浄機能が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、維持されていた。	2026/7/26	
3		2026/8/26	

NO.	不適合内容	発見日	備 考
4	協力企業より、入構証を紛失したとの連絡があり、当該入構証の無効化措置を実施した。 調査の結果、当該企業にて退職した作業員の書類を整理する際、誤って入構証も処分してしまっていた。 対策として、当該企業に対して入構証の取り扱いについて再教育を実施し、入構証の保管状況を定期的に報告する運用を定めた。	2026/7/31	
5	監視用の照明が、問題なく作動しているものの一時的に異常を知らせる状態となり、その後自然復旧したことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合はなく再現性もなかったことから、一過性の不具合と判断した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、維持されていた。	2026/8/3	
6	監視用の照明が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、維持されていた。	2026/8/3	
7	監視カメラの録画機能が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。	2026/8/13	
8	侵入検知器の一部機能が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、維持されていた。	2026/8/27	
9		2026/9/2	
10	監視モニターの映像切替が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、維持されていた。	2026/9/1	
11	侵入検知器が、正常に作動しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2026/9/1	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2026年10月)

2026年10月8日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況										補足説明		
			11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6～	第15回 2007.5.4～2010.8.4 停止期間 2007.5.4～2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止										<燃料の管理> ○ 各号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、 仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。		
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19～	第11回 2005.9.3～2006.5.9 停止期間 2005.9.3～2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19～	第9回 2006.5.12～2006.9.15 停止期間 2006.5.12～2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11～	第9回 2006.4.9～2007.1.11 停止期間 2006.4.9～2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25～	第12回 2006.11.24～2011.2.18 停止期間 2006.11.24～2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	運転中	第10回 2012.3.26～2026.4.16 停止期間 2012.3.26～2026.2.16 (5076日) (原子炉起動2026.1.21)	第10回定検による停止Ⅱ 中間停止による停止										<6号機> ○ 4月16日に営業運転開始。		
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23～	第9回 2010.4.18～2010.7.23 停止期間 2010.4.18～2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%)

(9月末現在)

9月	16.9%
2026年度累計	17.0%
運転開始後累計	36.3%

③ 発電所発電電力量(万kWh)

(9月末現在)

9月	99,825
2026年度累計	611,680
運転開始後累計	88,180,471

④ ドラム缶発生量(本)

(9月末現在)

当月発生本数	311
貯蔵庫累積貯蔵本数	28,940
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2026年度第1四半期)

使用済燃料貯蔵フル貯蔵体数	13,573
使用済燃料貯蔵フル管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵フル貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (10月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	821	2,367	46%
	刈羽村	62	233	4%
	その他	170	1,392	23%
	小計	1,053	3,992	73%
県外		116	1,727	27%
合計		1,169	5,719	—
		6,888※2		100%
協力企業社数(社)		783		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※2 参考: 10月1日(木)の構内入構者数 5,129人

⑦ 来客情報(人) (9月末現在)

	9月	年度累計
地元	717	7,700
県内	1,157	5,810
県外	1,370	6,563
国外	26	141
合計	3,270	20,214

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
10月22日	定例所長会見(予定)
11月12日	定例記者説明会(予定)
10月17日～10月18日	サービスホール 秋イベント
10月17日～10月18日	<コミュニケーションブース> 刈羽村 サービスホール
10月31日～11月1日	津南町 津南観光物産館
11月3日～11月4日	弥彦村 おもてなし広場
11月7日～11月8日	関川村 道の駅 関川
参考: 発電所見学ツアー 10月31日(土)～12月6日(日)の期間、毎週土・日開催	

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
0257-45-3131(代)